

令和5年度決算について（概要）

(1) 貸借対照表関係

学園の財政状態を貸借対照表によって説明すると、令和5年度末現在の資産の総額は、137億8,459万2,046円となった。その内訳は、有形固定資産101億9,534万3,513円、特定資産10億2,483万4,375円、その他の固定資産3億258万296円及び流動資産22億6,183万3,862円(内 未収金1億764万5,693円)である。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金など固定負債及び流動負債を合計して24億1,280万7,487円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第1号基本金が170億7,174万1,171円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第4号基本金が2億7,400万円となっている。

(2) 資金収支計算書関係

令和5年度の資金収支の状況は、当該年度の収入額が34億2,936万2,136円、これに、前年度より繰り越された25億3,358万43円を加えると収入の部合計は、59億6,294万2,179円となった。

一方、支出額は、38億1,058万1,929円であったので、差引21億5,236万250円が翌年度の繰越支払資金となり、昨年度より3億8,122万円減少した。これは、学生生徒納付金収入の減（-1億7,187万円）、施設関係支出の増（+1億8,268万円）によるものである。

(3) 事業活動収支計算書関係

令和5年度の事業活動収支決算のうち、教育活動収支の概要について予算との対比で説明すると、収入については、寄付金、経常費等補助金および雑収入において予算額を上回り、学生生徒等納付金、手数料、付随事業収入において予算額を下回った。

寄付金については、367万1,224円、経常費等補助金は7億7,934万7,876円、雑収入1億3,897万2,102円となった。これらの結果、教育活動収入額は、予算を205万2,781円上回り、32億9,837万6,781円となった。

一方、支出については、人件費を除く教育研究経費、管理経費において予算額を下回りその結果、教育活動収支における教育活動支出額は、38億6,999万2,196円となった。

教育活動収支差額は△5億7,161万5,415円となり、その他の教育活動外収支差額及び特別収支差額を合わせて、基本金組入前当年度収支差額は、△5億8,345万7,313円となった。

また、基本金への組入額は△2億7,448万3,438円となり、基本金組入後の当年度収支差額は、△8億5,794万751円で、これに、前年度の繰越収支差額を合算した翌年度繰越収支差額は△59億7,395万6,612円となった。